

民報

あばしり

NO.1074

2016.6.26

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
F 四三・四四五七

ごみ処理値上げ案

継続審査へ

第2回定例会で「網走市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する」提案がありました。改正の内容は、現在の一般ごみを「埋め立てごみ」「生ごみ」「使用済み紙おむつ」「容器包装プラスチック」の4区分に分別して、ごみの減量化と資源化を図るといふものです。

市の基本的な考えは、収集運搬、施設管理、施設建設費の借入返済の合計の3分の1を市民負担するというものです。委員会審査の中で、ごみの減量化、市民負担3分の1の根拠、市民への周知方法など多岐にわたって質問が続き、資料の追加請求などもあり、文教・民生委員会として継続審査となりました。

松浦議員は、「市民の暮らしに直接かわる問題なので、広く市民の声を聞く機会と時間が必要なので継続審査は当然です。市民のみならずと勉強会を開くなどを開きます。その際は意見をたくさんお寄せください」と述べています。



| ごみの種類 | 現行料金 | 改訂料金 (案) | UP率 |
|-------------------|-------------|---------------------|--------|
| 一般埋立てごみ | 2円 / ㍒ | ⇒ 3.2円 / ㍒ | 6割増し |
| 容器プラスチック・生ゴミ (新規) | | 1.6円 / ㍒ | |
| 自己搬入ごみ | 80円 / 20kg | ⇒ 800円 / 1回 100kgまで | 10割増し |
| 事業系ごみ | 160円 / 20kg | ⇒ 100円 / 10kg | 2割5分増し |
| 産業廃棄物 | 240円 / 20kg | ⇒ 150円 / 10kg | 2割5分増し |



政治は変えられる!

18日(土)「ストップの会」は定例の宣伝行動を行いました。

参院選直前の宣伝行動のためか、「戦争法廃止」だけでなく、「政治を変えよう」の訴えがありました。



政治を変えよう!と訴える会員

「年金者組合の会員は、「私は元教員です。先の戦争に教員たちは、子供達を戦場に送りだしてしまつた。戦争法は必ず廃止しなければなりません。みなさん頑張りましょう」と訴えました。

また生活と健康を守る会の会員神田優さんは、「全国の運動と連帯して1年間活動してきました。アベノミクスで利益がしたり落ちるどころか、年金が削られ、保護費が削られ、医療費の負担は増えただけで、ひとつも良いことはない、政治を変えよう」と力強く訴えていました。

松浦有戦モ?

市議会は23日に終わります。21日、22日までの2日間、一般質問が行われ、私は21日の午後に質問しました。住環境改善補助金(住宅リフォーム助成)と通学路の安全確保、国民健康保険料、介護保険制度について質問。参議院選挙もあり日程的にきびしい条件でしたが、質問の中で問題点が明らかになるなど一定の成果があったのではないかと考えています。

最終日には、市税条例等の一部を改正する条例制定に反対します。改正の中の軽自動車税環境性能割の創設について、昨年度から軽自動車税が7200円から10,800円に1.5倍の引き上げがありました。提案では平成32年度燃費基準排出ガス基準値を10%以上クリアした車は減税になるが、27年度燃費基準などの車両は増税になるもので、燃費データ偽造が発覚したのにおかしいと思いませんか?

流水

フツフツ。ピツピツと、3分くらいだっただろうか。「ハイ終わりましたよ。」と医師は、笑顔で右眼の緑内障手術を終えたと告げた。同じことを次週に左眼に実施。怖かったが、なんと簡単なレーザー光線の手術!黒目の周り

にある茶色い部分にレーザー光線で穴をあけて涙腺を通り易くし、眼圧を下げることで緑内障の進行を遅らせるという。手術前の麻酔が入っている液状の点滴を眼に10回ほど入れた。痛みらしいことは全くというくらいなく受けることができた。術後の視力も変わらず、入院もなし、いすに座ったままの手術だった。医学が進んでいる結果か。1回目は、周りの情報はなく、白内障手術は入院だし、心配で夫が送り迎えをしてくれた。医師は、「日常の生活を今までと同じようにしています。ピアノも、新聞も大丈夫。」と、いうのだが、直射日光にさらすと眼が疲れたような感じもあり、太陽が出ているときは、サングラスをかけて出かけるようにしている。2回目は、自分で運転して終わらせた。▼あれから1か月、手術前の眼の不安がなくなり、自己満足をしている。この事態を話して、そのうえ2回合わせて1万5千円くらいかかるが、これから安心して、もうしばらく過ごせそうだと、周りの方々にお勧めしている。▼「いつでも元氣」(民医連月刊誌5月号)アベ政治を許さない”の書。俳人金子兜太さんの「命を本能的にいたわる修正をもっている人たちの間に通用するのが九条です。」とエッセイが載っていた。安心して通院できる今を本当に守って行きたい。署名も選挙も、周りの方々に呼び掛けている。(つ)